

# 地域密着することで社会貢献する企業

取材企業名

大橋運輸株式会社

高校名

学校法人愛知学院  
愛知高等学校



## 企業理念

仕事を通じてお客様や地域に貢献する

設立 昭和29年 3月17日  
所在地 愛知県瀬戸市西松山町2-260  
資本金 3000万円  
社員数 98名(男 73名 女 25名)  
保有車両 大型車29台、中型車23台、小型車5台、  
フォークリフト 4台

## ○ SDGsの取組



遺品整理やお片付けサービスを通して、まだ使える家具や小物のリユースに取り組み、フィリピンのマニラなど海外へも輸出。高齢者の家の家具を整理することで怪我予防にも繋がる。



「健康あつての安全」。ドライバーの生活習慣病などの予防。社員や地域住民の健康寿命を伸ばすために、会社内ではトレーニングルーム設置、快眠グッズの提供など。地域に対しては運動スペースの解放、健康に関する交流会やセミナーの開催。



職業体験、インターンシップの受け入れ体制の整備。

## ○ SDGsの取組を始めたきっかけ

大橋運輸株式会社では、2015年にSDGsが採択される約15年前から、社員の健康のための活動を行っていた。つまり、今行われている多様な取組みはSDGs達成のために開始した、と言うよりもこれまで取り組んで積み重ねていたものをSDGsに繋げたものと言える。そして、会社が取り組む活動の中には、2012年から継続して行っている活動もあり、中小企業の中でも頭抜けて、SDGsの取組みに挑戦していることがわかる。要するに、大橋運輸株式会社は時代に先がけて、様々な活動に精力的に取り組む他の企業のモデルともなり得る会社なのである。



## ○ その他参考になったこと

- ・海外の社員の雇用、他国への輸出など、繋がりを海外まで向けている点。
- ・「1年中がんばらない制度」で「Thanks cards」や「Smile cards」を送り合い、多くもらえると賞品が貰える点。
- ・「趣味応援企画」で、抽選で当たった社員には趣味に必要な費用の一部を会社が負担してくれる点。
- ・ワーク・ライフ・バランスや福利厚生の上の取り組みを行っている点。(例)退勤時間可視化、食品提供



## ○ 感想

今回の取材で企業が取り組むSDGsに関して、多様な事に取り組んでいることが分かった。ヨガ教室やバランスボール教室の開催によって、社員のみならず地域の人達の健康増進にも力を入れ、会社としての信頼度も向上できる点が地域密着型だと感じた。

セミナーや講演会も小学校から高校までの若者に対し、企業が取り組むSDGsを紹介し、将来の環境に配慮できる人材の育成に貢献していることも印象に残った。

「1年中がんばらない制度」の「Thanks cards」などは学校でも採用できると考え、小中高でも取り入れることでSDGsがより身近に感じることができると思い、学校で提案したいと考えた。

今回の取材を通じて、企業がSDGsに真剣に取り組んでいる姿に強く心を打たれた。これまでの私は企業という大きな組織が具体的にSDGsに対してどんなことをしているのか全く知らなかった。環境保護や社会貢献のための具体的な取り組みを、現場に伺い直接お聞きすることで、SDGs活動は実際に社会を変える力を持っていると実感した。特に、高齢化社会に対する大橋運輸株式会社の努力とアイデアの幅広さには、若者として深い感心を抱いた。私も未来を担うひとりの若者として、学んだことを活かしてより良い社会の実現に向けて行動していきたいと強く感じ、数々のSDGs問題に積極的に取り組む大橋運輸株式会社の活動に取材が終了した今も定期的に着目していきたいと感じた。

## ○ 課題や今後の展望

特に印象に残ったのは「2025年問題の中、付加価値を与えていける企業になりたい」という言葉だ。2025年問題とはいわゆる「団塊世代」と呼ばれる800万人全員が75歳以上となり、国民の4人に1人が後期高齢者となる時代を迎える問題のことである。大橋運輸株式会社が本社を構える瀬戸市では現在、高齢化社会の問題に直面していて、今後はさらに超高齢化社会の問題を抱えることになる。この地域で、SDGsの取り組みを通じて、市民の方の健康寿命を伸ばす手伝いができるような付加価値を提供することが出来る社員を育みたいということが今後の展望であり、その方法を模索することが同時に課題でもあるそうだ。

## ○ 企業から高校生へのメッセージ

大橋運輸では、未来に繋げるSDGsと企業の役割を考え、未来のために、今、自分たちに何ができるのかを考え、取り組んでいます。

誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指し、これからも地域の課題へ挑戦していきます。今回の取材を通じての学びが、若い世代の皆さんの心に響き、高い意識をもって、地域の課題に役立つ行動をして頂ける事を期待しています。

弊社の地域課題への取り組みが、高校生の皆さんの「未来を生き抜く力」となることを願っています。素敵な取材記事、ありがとうございました。